

VMware Mirage

仮想デスクトップ インフラストラクチャに管理性を提供し、
デスクトップをローカルで実行

概要

VMware Mirage™ は、仮想デスクトップ インフラストラクチャ (VDI) の統合デスクトップ イメージを管理し、ラップトップ コンピュータ上でイメージをローカルで実行できるようにします。これにより、IT 管理者の管理性を高めながら、ユーザーは、ネットワークに接続していない環境でデスクトップを使用したり、マルチメディア アプリケーションを実行するなど、物理 PC のパフォーマンスで作業を行うことが可能になります。

主なメリット

- **単一イメージによる統合管理**：IT 部門は単一イメージを管理する機能を活用して、多くの端末を管理する代わりに、1 つの Windows や各アプリケーションのコピーを管理およびアップデートします。
- **イメージにより全てをリカバリ**：任意のコンピュータの完全なイメージを作成し、同様のマシン、または異なる種類のマシンに対して、ユーザー ファイル、アプリケーション、または設定のすべてをリカバリすることが可能です。イメージは、1 時間、1 日、1 か月単位のスナップショットとして継続的に保存され、CD や DVD または複雑な機器なしでリストアを容易に行えます。
- **完全な双方向ネットワークと、重複排除による最適化**：データセンター内に、ファイル、アプリケーション、オペレーティング システムのコピーを各々 1 つずつ格納します。他のユーザーがファイルなどを WAN 経由で転送している場合は、それらのどのブロックも転送されることはありません。
- **PC の容易な修復**：IT 部門は統合イメージを使用して一般的な PC の問題を解決します。さらに、ユーザー データに影響を与えることなく、最後に正常に動作していた時点の状態を復元することができます。
- **オペレーティング システムとハードウェアの移行を自動化**：大量の端末を短時間で Windows XP から Windows 7 へ移行させることができます。また、ハードウェアの交換を行う場合でもブート メディア不要で、IT 部門が新しいイメージを使い、手動でインストールする必要もありません。さらに、Mirage はネットワークの最適化ができるため、遠隔地であっても WAN 経由で効率的にイメージを転送します。通常の方法では 4 ~ 5 日かかる 100 回の移行を、エンド ユーザーの状況にかかわらず、1 人の担当者が、わずか 1 日で実行することができます。

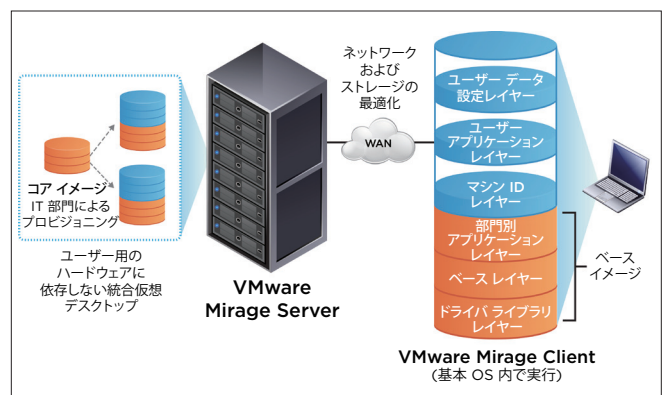
VMware Mirage について

VMware Mirage は、端末の管理とリカバリに特化したソリューションで、イメージの統合管理とローカルでのデスクトップの実行を可能にします。端末のイメージのクローンを作成し、データセンターに格納することで、統合管理とリカバリが可能で、また、各端末にイメージのキャッシュ コピーを配置してローカル (オフライン状態) でデスクトップを実行できるため、比類のない操作性をユーザーに提供します。

VMware Mirage の仕組み

VMware Mirage は、完全なデスクトップ コンテンツをデータセンターに格納して、集中管理と保護を行います。デスクトップ ワークロードの実行は、それぞれの端末上で行うため、ユーザーの操作性が向上します。また、データセンター上のイメージと端末上のイメージの同期も最適化されています。

VMware Mirage は、PC を理論上 6 個のレイヤーに分割し、管理します。ドライバ ライブラリ レイヤー、ベース レイヤー、および部門別アプリケーション レイヤー (試験的機能) は、IT 部門によって統合管理され、マシン ID レイヤー、ユーザー アプリケーション レイヤー、およびユーザー データ設定レイヤーは、ユーザーによって管理されます。これらは、統合仮想デスクトップ (CVD) のレイヤーです。統合仮想デスクトップは、物理デスクトップと仮想デスクトップ間の移行を容易にするため、幅広い使用環境に対応します。Mirage Client は、この統合仮想デスクトップのコピーを端末上で実行します。これにより、ネットワーク接続がない環境でもオフラインでユーザーが作業できます。さらに、CPU や画像処理の負荷の高いアプリケーションを実行する際に、物理 PC のパフォーマンスで作業できます。



Mirage のアーキテクチャには、統合デスクトップの管理と保護を行うための VMware Mirage Server、ローカル キャッシュを作成して端末の操作性を最適化する Mirage Client、WAN を経由した双方向の同期を高速にする、高度な WAN 最適化テクノロジーが含まれます。

機能とメリット

VMware Mirage Server

データセンター内のすべてのデスクトップを統合管理します。インテリジェントな管理コンソールでイメージを管理し、ストレージやクライアントを制御することが可能です。

- 単一イメージの管理：**イメージのアップデートまたはパッチ適用を行うと、関連するすべてのデスクトップイメージに変更が適用されます。エンドユーザーがネットワークに接続していなくても、イメージを集中管理し、ネットワークに接続すると、変更が自動的に同期されます。適切な単一のイメージを管理することでサポートの負荷を低減します。
- イメージの階層化：**PCを理論上6つのレイヤーに分類します。ユーザーによるカスタマイズされた情報を分割して、イメージを管理することにより、イメージの再適用を行う際に、ユーザーのカスタマイズ情報を維持することができます。
- 完全なデスクトップを継続的にバックアップ：**ユーザーがインストールしたアプリケーション、マシンの状態、ユーザー設定、ユーザーデータを含むデスクトップ上のすべてのデータを自動的に保護、リストアし、任意の時点の状態をリストアすることも可能です。また、ミッションクリティカルなデータを保護し、デスクトップの継続性を確保するほか、端末にインストールされたアプリケーションの情報を確認できます。
- 統合仮想デスクトップのリストア：**異なるハードウェアベンダーのPCでデスクトップイメージをリストアすることが可能です。スナップショットから統合仮想デスクトップをリストアすることで、破損したイメージやウイルスに感染した端末上のイメージを修復し、ラップトップの紛失、盗難、故障時のエンドユーザーのダウンタイムを低減します。また、ユーザーがインストールしたアプリケーションやユーザーの個別の設定を、新しいハードウェアに迅速かつシンプルに移行することができます。
- 端末へイメージを迅速に展開：**問題が発生した場合、わずか数分でスナップショットを端末へリストアできます。その際、ユーザーがインストールしたアプリケーションをそのまま保持するか、クリーンアップするか選択可能です。
- 重複排除によるストレージの削減：**オペレーティングシステム、アプリケーション、データなどをすべてのユーザー間で重複排除して管理するため、仮想デスクトップのストレージ要件を大幅に削減します。

VMware Mirage Client

統合された仮想デスクトップイメージを端末上で実行することにより、物理デバイスのパフォーマンスを活用できるほか、オフラインでの作業や、ユーザーが独自にアプリケーションをインストールすることができます。

- ハイパーバイザーなしで実行可能：**Mirageはハイパーバイザーに対応していますが、ハイパーバイザーがない環境でも実行できます。どちらの環境であっても、ユーザーに提供するOSの環境を適切に管理できます。端末にベアメタルハイパーバイザーを使用する必要はありません。

- ユーザーによるバックアップとリストア：**IT部門が管理するバックアップポリシーに加え、ユーザー自身が必要に応じて必要なファイルのバックアップとリストアを行うことができます。ファイルのリストアによるサポート依頼を削減しながら、ミッションクリティカルなデータを迅速かつ確実にバックアップします。
- 端末上でローカルにイメージを実行：**統合管理されている統合仮想デスクトップの完全なインスタンスを、端末上で実行できます。ローカルのコンピューティングリソースを活用できるため、接続性や帯域幅の状態を考慮する必要がありません。オンラインとオフラインの切り替えは瞬時に行い、チェックインやチェックアウトは必要ありません。また、負担の大きいデータセンター構築を回避でき、従来の仮想デスクトップインフラストラクチャよりも、スケーラビリティが大幅に向上します。
- 1つのイメージを複数のローカル端末で利用：**単一のイメージを複数のローカル端末で利用でき、WANのトラフィックが低減されます。ソフトウェアの配布やPXEブート用に、支社でサーバを構築する必要はありません。

VMware Mirage によるネットワーク最適化

徹底した重複排除および最適化技術を併用することで、ネットワークトラフィックが大幅に削減され、リモートユーザーとモバイルユーザーは高速にデータの同期を行えます。

- WAN経由のデスクトップの接続：**ブートに必要な最小のデータをダウンロードし、バックグラウンドまたはオンデマンドで、残りのデータをインテリジェントにストリーミングします。リモートの端末に完全なデスクトップをわずかな時間でリストアし、イメージが破損しても短時間で修復します。
- ネットワークトラフィックの削減：**すべてのファイル、ユーザー、ネットワーク、およびストレージ全体で、ブロックレベルまたはファイルレベルの重複排除を行います。ネットワークトラフィック、転送時間、およびストレージの占有量を削減し、完全なデスクトップイメージの転送を高速に行います。

システム要件

Mirage Client

- Windows XP Professional SP2 / SP3 (32ビット) および Windows 7
- 標準のラップトップ / デスクトップ ハードウェア

Mirage サーバ

- Windows Server 2008 R2 Standard Edition (64ビット)
- 一般的なハードウェアおよび ESX / ESXi

詳細情報

VMware 製品のご購入、または詳細情報については、次の製品 Web サイトをご覧ください。

<http://www.vmware.com/jp/products>

製品の仕様およびシステム要件の詳細については、VMware Mirage のオンラインドキュメントを参照してください。

